

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	i-step ジュニアグッドJob (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	R7 年2月3日		~ R7 年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	R7 年2月3日		~ R7 年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年2月3日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども達が、当事業所の通所を楽しみにしてくれている。 ・保護者が、当事業所の支援に満足してくれている。	月ごとの活動予定カレンダーを作成し、保護者だけでなく学校や関係機関にも配布している。活動内容がマンネリ化しないよう職員間でアイデアを出し合っている。	引き続き、様々な活動の企画を考案し、通所する楽しみにつなげていく。
2	活動や体験を通して、ご家庭や日常生活において活かす事ができるスキルを学ぶことができる。	「就労準備型」をコンセプトに日常生活や将来の自立に向けたスキルアップにつながる様々な活動を多く取り入れている。	現在、利用者さん全員が中高生である。今後も、社会性やコミュニケーション能力の向上等を中心とした支援の充実化に努めていく。
3	子どもの様子や状況について、保護者や学校とで情報共有を行い、発達段階や課業員について共通理解を図ることができている。	5領域域を踏まえた上で、職員の専門性を活かした支援が行われている。発達段階の差もある為、支援の手立てやグループ分け等の工夫をしている。	今後も総合的なサポートに努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館と交流するような機会はなかった。	感染症対策への強化に努める一方で、外部との交流機会はだいぶ減ってしまった。	外部イベント情報等、身近で参加しやすいものをリサーチし検討していく。
2	保護者会の開催等、保護者同士が交流できるような機会が少なかった。	土曜家族会において、子ども達が作った作品や自分達で当日調理した屋台グルメの具足会を実施したが、保護者が全員出席できるとは限らない。	半年から年一回程度の頻度でそうした機会が設けられるよう努めていく。
3	会報や自社のホームページ等において、活動の概要や行事予定連絡体制についての発信が薄かった。	ホームページや、インスタグラムにて掲載はしていたものの、周知不足だった。	保護者、学校、関係機関に向け、周知・発信していく。